

## 平成24年度くり園の冬季管理等研修会

### くり生産力向上共励会表彰式を開催しました

茨城県くり生産者連絡協議会

平成24年12月6日(木)、茨城県、園芸いばらき振興協会、茨城県くり生産者連絡協議会の共催により、笠間市役所及び現地において共励会表彰式と冬季管理等研修会をJA栗部会等の会員、県、市町村関係者の参加のもと開催しました。

主催者を代表して、くり連の川上会長、県産地振興課の糸賀技佐から、本年多くのメディアに取り上げられた本県くりへの期待を込めたあいさつをいただきました。

共励会は、3年に1回開催され、最高位の農林水産大臣賞には笠間市の瀧本光義氏が受賞され、続く7名の方々が県知事賞など各賞に輝きました。

研修会、午前の部では、県園芸研究所の門脇主任より、本年の収量低下、害虫多発の要因等を踏まえて次年度対策や収穫始期予測法、続いて、2014年からのヨウ化メチル剤導入への手順を県エコ農業推進室の小林主任より講演をいただきました。

午後の部では、大臣賞を受賞された瀧本氏のくり園のお披露目を兼ねて剪定を中心に管理技術を、園芸研究所ではヨウ化メチル剤くん蒸施設の実地研修を行いました。

参加者の多くは、生産技術から流通販売まで関心が高く、座学、実地研修ともに熱心で、日本一のくり産地振興のため、鋭い質問も飛び出しておりました。

また、この日の昼食は、くりの消費拡大は身近からと栗入り稲荷ずしを堪能しました。



川上会長あいさつ



共励会表彰式



大臣賞受賞の圃場で研修



ヨウ化メチル剤くん蒸施設で研修

